



真剣な表情での応援が体育大会を盛り上げた
袴野中小学校にて



あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

20年度決算を承認	2
七滝地区のごみ収集2回を	8
真剣さ伝わる、高校生が傍聴	12
人権擁護委員に新たに宮本英二氏	13



20年度 一般会計決算を承認

平成20年度の一般会計決算の認定や特別会計決算の認定、条例の改正などを議題とする9月定例会を9月10日から16日までの日程で開いた。一般・特別会計の決算はすべて認定した。条例改正や補正予算などもすべて承認した。

人権擁護委員に井口誠一氏(再)、宮本英二氏の選任に同意した。町政に対する一般質問に4人が登壇した。

審査の主な質疑

矢形川雑草処理 大々的にやって

沖議員 矢形川雑草処理費用6万円はどこを行なったか。上高野と下高野の間は草が伸びすぎている。6万円では受けきらんとの声もある。大々的に切ってほしい。

栗永建設課長 落合区と契約を締結し実施した。流域の一斉除草を3月20日実施、草刈については県河川であるので要望していく。

ふるさと納税で 説明したか

吉村議員 ふるさと納税寄附金28000円計上されているが制度の内容を説明されたか。

竹下企画財政課長 一般の方2名分の寄附で振込みがあったもの。

竹バイオマス 進出の状況は

森田議員 地域バイオマス利活用補助金、2億9279万円は御船竹資源開発のものか。進出の状況はどうなっているか。

竹下企画財政課長 3月現在で事業をストップしている。

森田議員 全員協議会の中で利活用補助金を申請し、日本政策金融公庫から「借りる」と説明を受けたがどうなった。

竹下企画財政課長

「融資打ち切り」で進んでいない。現在は個人投資家の融資として進めている。

森田議員 答弁が違うのではないか。

竹下企画財政課長 経緯は間違いない。

森田議員 町は計画主体。事業主体は御船竹資源開発株式会社。20年度は6億の

事業。半分の3億円は事業主が負担することになっている。出来ているのか。

山本町長 工場用地の白岩団地について契約できていない。残りの部分について協議をしている。20年度の事業を21、22年度に変更の範囲をどこまでやるか農政局とも話をしている。町の関わり方で微妙な所。それは計画主体ではあるが事業主体ではない。選択肢はいくつかある。

森田議員 土地の契約が出来ていないが。

山本町長 県、町、事業主体が十分な協議に至っていない。行政も出来るだけ応援をしていきたい。

森田議員 2億9千万円はいつ支払ったのか。

竹下企画財政課長 3月と5月。

森田議員 6ヶ月も経っている。3億も出来ないのなら、残額(7億)はどうする。

山本町長 国から町を経由して事業主体へ出ている。事業が成立しなければ、事業主へ返還を要求することとなる。

森田議員 最悪の状態になったとき町はどうする。

山本町長 なぜ進まないか調べ、農政局とも相談をしている。

栗原議員 この事業は町民の期待も大きい。うまくいかなかったときの国との契約はどうなっているか。

竹下企画財政課長 国の交付金事業であり、事業主体が払えなかった時は、町が返還することになる。



御船竹資源開発株の建設予定地

マニフェスト委託料 契約の変更必要では

畑田議員 マニフェスト推進委託料120万円の決算内容について。

野口総務課長 町長が進めるマニフェスト推進に対するアドバイザ料。来庁は年間35回、電話やメールでの指導もある。費用弁償は実費を支払っている。

畑田議員 業務内容で月2

回、年24回の契約。一回5万円は高い。算出根拠は。

野口総務課長 コンサルタント業務は微妙なものがある。指導的なものもある。大学講師なら1時間1〜2万円。全国レベルで2〜3倍。北川正恭先生は20万円程度払っている。

畑田議員 月2回の契約なのに35回。契約の変更の必要があったのでは。

山本町長 契約の中身は項

収入ない調整池 なぜ受け入れた

沖議員 白岩団地の調整池はいつから町の仕事としたのか。

野口総務課長

平成6年に県から6800平方メートルと道路を受け入れた。

沖議員 収入のない調整池をなぜ受け入れたか。

野口総務課長

膨大な開発を県がやり、



白岩工業団地の調整池

目がいくつもある。差が生じた場合は実費弁償として

畑田議員 費用弁償の計算は条例もある。精査も必要。21年度は200万円。職員

もがんばっている。委託の見直しも必要ではないか。

山本町長 職員の研修は課題。目標指向型に進みつつある。

町づくりコンサル 委託先と理念は

藤村議員 町づくりコンサルティングの委託先と理念を示しているか。

竹下企画財政課長 都市環境研究所玉田浩二氏。

藤村議員 理念のない委託なら実現が難しい。方向性を示しているか。

山本町長 目標指向型で、58項目、横の連携を図るた

くり計画書を購入」としたこと、「是

認できない」とあるが監査委員の見解を。増永監査委員

自治法上に銘文の記載はない。審査の報告は町長に行うもの。議員に答える必要はない。

栗原議員 ど

こが問題となるか。

竹下企画財政課長 表

記の問題。

栗原議員 監査委員による審査意見書の中に「まちづ

町づくり計画書 購入とあるが



3回目の発行となった町づくり計画書

町づくりコンサル 成果はどうか

藤本議員 町づくりコンサルティング委託料とはどう言うものか。成果は上がっているか。

竹下企画財政課長 委託の内容はマニフェスト推進管理や街並みの保護、事業に対するアドバイス。

藤本議員 幅広く企画されている。報告書を出して。竹下企画財政課長 全員協

議会の場などで出したい。

夏季慰霊祭 主催はどこか

沖議員 夏季慰霊祭の主催はどこか。

松岡福祉課長

慰霊祭は町主催。精霊流しは商工会主催。21年度ははつきりさせるようにした。

沖議員 若葉、

高木、上野の各保育園で臨

め町民や関係者で考えていく。

時職員の数の差がある。なぜか。

松岡福祉課長 適正な運営のための配置。

竹下企画財政課長 正職員が不足の場合は非常勤職員病気などでの不足は臨時職員。使い分けている。

敬老会の分配金は

吉村議員 敬老会の分配金の状況はどうだったか。

松岡福祉課長 社会福祉協議会に補助した。基準は校区開催5万円。嘱託区開催1万円。サロン開催1万円。全体で289万円となつて



県内でもめずらしい精霊流し

御船健診で 受診者少ないが

吉村議員 御船健診で健診者が少ないと聞くと状況はどうか。
国保加入者の何%受けているか。

松岡保健衛生課長 大腸がん健診1457名(50歳)、胃がん734名(40歳以上)、子宮がん26歳以上749名、

乳がん68名(30歳〜39歳)、783名(40歳から)、胸部357名(40歳から)。国保加入者の半数以上の方が受診している。

乳幼児健診時に オマールの準備を

清水議員 乳幼児健診で専門員が来られているがボランティアか。



国保加入者の半数以上が受診している御船検診

松岡保健衛生課長 地域療育センターの事業で行われており費用は出していない。

清水議員 オムツが取れるころ、トイレを怖がる。オマールを準備してはどうか。

松岡保健衛生課長 考える。

清水議員 道の駅事業委託料とは。

栗永建設課長 ふれあい広場内に検討するために委託した。

ふれあい広場 どういふものか

田端議員 産業ふれあい広場建設の検討をされているが旧商業地域はどういう状況か。話し合いの場は持つ

ているか。

栗永建設課長 買い物客などの状況はつかんでいないが商工会と話し合いをしている。

田端議員 道の駅や物産館の建設に対し危ぐする。公設民営か。どういふものになるのか。町の大きな事業となりうるので慎重になるべき。

山本町長 町づくり交付金での産業ふれあい広場かどうか考えている。まず敷地を準備したい。自然環境づくり、子育ての仕組みづくりを目指したい。

田端議員 1.2haを買い取るすべしどれくらいになるか。

栗永建設課長 1平方メートル当たり2万円

田端議員 24億円かけ、どういう役割を果たすか問題となる。将来の絵は描けているか。

山本町長 都市計画は

将来重要な位置となりうる場所



水越線のスクールバス

山本町長 商工会長ほかで陳情書を持参された。ボランティアでやりたい。許可する方向で検討している。

池田議員 スクールバスの運営はどうな

100年の大計。この場所は将来重要な位置となる。公園も少ない。オープンスペースとしても置きたい。

ジオパークの取組は

塚本議員 ジオパークの取り組みで補助金の活用も出る。早めに対策を。

宮村教育長 御所浦が手を挙げています。御船の地層からも十分考えられる。

塚本議員 緑の村の事で商工会から何か相談があったか。補助金の申請は。

藤岡経済振興課長 キャンプ場近くにステーションや駐車場の設置の要望がある。補助金の申請はない。

下水道料滞納 徴収方法は

沖議員 下水道会計に一般会計から2億4千万円を出している。滞納に対する考え方、徴収方法などどう考えているか。

浦田上下水道課長 滞納で納付の1期、2期遅れには催告、電話で要請している。特別徴収を強化し、給水を止めることもある。

補正を承認

一般会計と各特別会計の補正予算の補正額の提示を受け、それぞれ承認した。
主な審議は以下の通り。

学童保育の予算減は

沖議員 学童保育への補助金の減額146万円の理由は、21年度予算段階で分かっていたのだから。

松岡福祉課長 国の補助方針の変更による。予算編成の段階では確認できていなかった。

沖議員 県の方からは昨年8月ごろ変更される旨、話が出ていたのでは。

松岡福祉課長 9月3日に減額される通知が来ていたが確認できていなかった。

沖議員 各学童クラブは予算を見越して組んだ。運営できない状況になっているのでは。

松岡福祉課長 各クラブを回り現状を把握した。規模の小さい所は厳しくなる。

沖議員 通知を確認していなかったのは職員のミス。陳謝したか。

松岡福祉課長 各クラブと会議を持ち説明した。

山本町長

どこでミスが出たか明確にする。不足する所は町が補助する。

喫煙者気まずい思い

岩田議員 喫煙室を作るが場所は。

野口総務課長 これまで分煙機を3機置いていたが撤去した。庁舎内での喫煙を

禁止とした。西側出入口の外に灰皿を置いたが、丸見えで苦情も多い。休憩室内に仕切りを作り、集煙機と換気扇をつける。

佐藤議員

現状では見苦しい。喫煙者は気まずい思いをしている。タバコ税は年8千万円の税収もある。喫煙所の確保は必要。しかし喫煙時間など考慮する必要がある。

IT関係のリース情報公開ない

池田議員

人事異動による



庁舎西側出入口横での喫煙



役場内の電算室

補正が多く見られるが、増額だけでている。減額はどこに。

野口総務課長 予算は3月決めるが4月1日で大幅な異動があるので補正で対応となる。

竹下企画財政課長 給与改定の人事院勧告が8月に出されるが条例改正をしてから補正となる。

池田議員 産休補償の割合は。

野口総務課長 産前産後は通常の支給。育児休暇には補償なし。

池田議員 庁舎内のIT関係のリース、保守点検契約

補正が多く見られるが、増額だけでている。減額はどこに。

関係の情報公開され

野口総務課長 IT関係、総合行政シ

ステム関係は予算決算で出している。

池田議員

建設工事関係の入札など出している。IT関係はどう言う業者と契約し

野口総務課長 RKKコンピュータと契約している。

山本町長 平成7年に5社で入札した。個人情報以外は出していき

保育園、待機児童は

栗原議員 保育園に關し待機児童数は、また充足率は。

松岡福祉課長 産休明け後すぐ復職の方も増えている。待ちの方もある。定員数では受け入れ可能で

山本町長 待機児童はないと聞いている。児童数も減少傾向にある。

藤村議員 調査した内容は公開できるか。

松岡福祉課長 認定子ども園に関する調査は公開できる。

上野インター付近県道改良は

田端議員 ブロードバンドの導入、展開、経過は。

野口総務課長 計画書作成の予算化をした。公設民営型で交付金を活用した事業

としたい。ADSLと光ファイバーで差がある。

田端議員 上野インター設計委託で県道も上下1本の改良を予定と聞いているが。

栗永建設課長 宮の本々歌野商店付近の部分的な改修を要望していく。

インフル流行 保険証ない方は

藤村議員 新型インフルエ

ンザが流行っているが、保険証を持たない方への対策は。

下田町民保険課長 納税相談を行い、「短期」の保険証を発行している。インフルエンザ対策では患者第一に考え対応する。

議長報告

生きた議会基本条例をめざして 町民団体との初めての意見交換会が行われる

議員視察研修

7月6日～8日

北淡震災記念公園、徳島県上勝町、大阪府熊取町議会（P14に詳しく掲載）

全員協議会及び活性化協議会を開催

7月2日、8月4日、9月7日

学校教育課より、御船小学校建設計画の説明を受ける。議会報告会の回答内容の検討や議会基本条例制定特別委員会からの懸案事項、申し合わせ事項の確認、審議会等の委員就任を協議した。

議会運営委員会を開催

8月11日、9月2日

各種案件の協議、定例会の進行について協議した。

県町村議 長会主催 による研 修

7月15日

常任委員長並



商工会理事との行政懇談会の様子

びに議会運営委員長が参加。

慶応義塾大学小林良彰教

授が「国内の政治情勢につ

いて」と題して講演。同日、

郡内議員の意見交換会が開

九州横断自動車道 延岡線建設促進沿 線議会期成会総会 並びに決起大会

7月17日

宮崎県延岡市で開催され、議員12名が参加。新直轄区間御船山都間の早期設備を

視察研修の受け入れ

福岡県築上郡議長会、

熊本県大津

町議会、

宮崎県小林

市議会、

高知県四万

十市中村地

城区長会、

福岡県上毛

町議会以上

の訪問があ

り、議長と

議会運営委

員会では対

した。

議会基本条例制定 特別委員会視察研 修

8月20日～21日

全国町村議議長会。岡本光雄氏から講義を受ける。基本条例の内容について、法令との関係について学んだ。

町村議会広報研修 会

8月25日～26日

東京都シェーンバツハ砂防で行われた。委員2名が参加し、これからの議会広報について学んだ。

決算審査

7月13日～31日

9日間にかけて決算監査が実施された。結果は、「御船町一般会計・特別会計歳入歳出決算、定額資金運用基金運用状況及び財政健全化審査意見書」にまとめている。

商工会理事との 行政懇談会

9月2日

商工会からの提案事項や懸案事項について意見交換をした。大変有意義な会だった。

第70回 町村議会広報研修会



全国町村議会広報研修会

改正された 条例等

報告

財政健全化判断比率及び資金不足比率

条例改正

国民健康保険条例の改定
出産一時金を「35万円」から「39万円」にする。
ただし、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したとき支給。

御船町立社会教育センター施設の設定及び管理に関する条例の改正

旧七滝中学校の校舎が解体され、特別教室が小規模多機能施設として利用されます。

町道になります

足水浄光寺2号線

北木倉線

玉虫早川線

餅畑線

八勢線



町政報告

8月30日に第45回衆議院議員総選挙の投票が行われ、民主党は308議席を獲得し政権交代が現実化した。今後国の動向を見ながら、行政運営を行うことになるが、地方分権・地域分権に転換するスピードが増すものと考えられる。単独で自立できる町づくりにまい進していきたい。

〈総務課〉

集中豪雨による被害額は、土木災害（河川災害を含む）1,330万円、農業土木災害1,230万円、農業施設災害1,240万円にものぼる予定。

6月24日から7月1日まで、町内10地区で御船町地区防災会議を開催。嘱託員、民生児童委員、消防団幹部合同によるはじめての会議で、情報交換や顔合わせが出来た。

〈企画財政課〉

・財政状況について
特別会計を含めた、歳入総額111億8,614万円、歳出総額107億4,

139万円で、差し引き2億8万7千円となり、前年度実質収支額を差引いた単年度収支額で1億2,227万円となった。厳しい財政状況ではあるが、町税、地方特別交付金の伸び等により黒字になったと考えられる。

・閉校施設利用について

旧七滝中学校特別教室を地域密着型小規模多機能施設に利用するよう進めている。

〈税務課〉

悪質な滞納者に対しては、

る。旧田代東部小学校については、生活体験学習施設として利用したいとの申し入れがあつており検討中。

・バイオマス利活用交付金事業

御船竹資源開発株式会社は、新規事業ということもあり検討課題も多く事業内容の変更を要するものとなつてきている。

・企業進出

白岩工業団地に「株式会社エイシン」が熊本市より移転する。



科博コラボ・ミュージアム in みふね
人気のアロサウルス実物全身骨格

県税務課地方税徴収特別対策室と合同で、強制執行（家宅搜索）を実施。16戸搜索したところ、約250万円の納付が即日あつた。

〈町民保険課〉

・後期高齢者医療制度

2年目に入ったが、低所得者への配慮がなされ見直しがあつたが、分かりづらいところがある。今後も説明をしていきたい。

〈福祉課〉

・敬老会

「御船町敬老会助成金事業」として取り組む。地域主体（校区又は嘱託区）での開催が補助要件となる。

・地域福祉ネットワーク推進会議

昨年に引き続き実施。各地域における取り組みの進捗よく状況の確認や今後について協議した。次回は、来年2月開催予定。

・認知症の学習会

小・中学校、役場職員、議会等で実施。今後も各団体からの依頼に出前形式で応じる。

〈保健衛生課〉

・健康づくり事業

食生活、運動不足、社会環境の複雑化等により、生

活習慣病が増加している。今後も健診と保健指導を連携させていきたい。

〈建設課〉

・産業ふれあい広場

地権者の同意が得られたので、用地測量調査に着手している。面積は1.2㍓。

〈学校教育課〉

・インフルエンザ対策

夏休み中に数名の子どもが発病した。臨時校長会を開催し、対策を協議した。

・御船小学校改築

基本設計業務委託業者が決定した。今後、建設検討委員会や保護者、学校関係者、地域の方々の意見を踏まえ12月の基本設計の完成に向けて協議していく。

〈社会教育課〉

・郷土に学ぶ文化事業

『踏み石』富田至誠と教え子たちのきずな」の舞台劇があり、たくさんの方のご協力で盛会に終わった。



インフルエンザに御用心

・科博コラボ・ミュージアム in みふね（12月6日まで）

国立科学博物館所蔵のアロサウルス実物全身骨格が展示。

・スポーツセンターでの重油流出事故

地下タンクに補給中、満杯によるオーバーフローにて、用水路まで流出した。

〈マニフェストまちづくり大会〉

町内外から300名以上の参加があつた。公約を実現する道具として今後もさらに活用方法について検討していく。

町内における、一般家庭 ゴミ収集のあり方について



井本 昭光議員

山間部夏場も一回のみ 週二回の収集が必要

町内における一般家庭ゴミの収集については、平坦部においては週2回である。山間部については週1回となっている。山間部の週1回だと保管に苦慮しまた、臭いが強く著しく不衛生だと思う。平坦部の週2回、山間部の週1回では、町民サービス

の面から見ても不平等ではないか。山間部の週1回に代わる町民サービスも今まであつてはいない。予算が伴うということならば4月～9月又は5月～10月までの半年間でもする必要がありはしないか。

早急に検討する問題と思



9月のシルバーウィーク中に間違っ出てされたごみ

ファームポンド(吉無田地)建設の進ちよく状況について
ファームポンド、つまり農業用貯水池は、平成6年より七滝土地改良区、また県の事業として立ち上げたと聞いている。この事業計画については七滝土地改良区の農業用水が近年、著しく少なくなり春先の田植え、8月の夏場においては急激に農業用水が不足するので

一日でも早い実現を!!

解消する目的で計画があがったと思う。また地区の同意が取れていないということであれば、町当局においては全力で農業用貯水池の必要性、安全性を説明し同意をいただき、この計画を一日でも早く実現する必要があると思う。(この計画においては町負担はない。)

山本町長 ファームポンド(農業用貯水池)については、防衛施設周辺障害防止

う。
山本町長 平坦部は週2回の収集であり、山間部は週1回というルール決めはその当時にされ、現在に至っている。公平な町民サービスからすれば調査の上、十分検討せざるを得ない。全体的な改正はもちろんあるが、夏場の不衛生な時期については、至急何らかの対応が必要である。

今後はゴミの量を減らすなどの環境基本計画等を策定し、その中で十分検討したい。



農業用水不足解消をまたれる農業用地

事業の一環で、熊本県が事業主体で行っている。
町も七滝土地改良区と相談し、どうにかして事業に着手して完成させたいと思っている。しかし現在では、施設予定周辺の関係者から異議があがっている。
当初からの説明が十分でなかったことや安全面などの課題があるので、今後は、原点にかえて理解をいただけるよう、土地改良区や県と協力して納得していただけるよう努力していく。



栗原 秀子議員

文化の息づく町づくり 美術館建設について

平成13年に「文化芸術基本法」が施行され、「文化芸術を創造、享受することが人々の生まれながらの権利」との文言が盛り込まれた。文化に対して意識の低い我が国にとつては評価できることである。幅広い文化の中から（カルチャーセンター自主事業、文化協会の活動、伝統文化、石橋・白壁の倉、食文化等）、3点について質問する。御船町では、浜田知明氏を初めてして、国内外で高い評価を得ている芸術家を輩出している。その財産を広く知らせるために美術館建設の考えはないか。

宮村教育長 8月22・23日に上演された『踏み石』

富田至誠と教え子達のきずな」を観られた方は、御船高校出身の芸術家の方が数多くおられるのが分かります。芸術の町御船を再発見できたと思う。また、現在もその芸術家達を研究し伝えていこうとされている方々や芸術活動に携わっている方々がおられ、そのことを伝えていくことは町の誇りであり大切な事だと思ふ。しかし、美術館建設となると多額の費用が必要で難しい。カルチャーセンターホワイエを利用したり、町民の方々と協力し合い町全体が美術

館となるような町づくりができればと思う。

質問するにあたって、文化協会の会報を読んだ。御船庁舎の町民保険課横の壁画、田中憲一氏の「犀」は、町民の提案（公共施設建設の1%を美術デザインに使う）から生まれた。その後、カルチャーセンター建設にあたっては、町側からホワイエの壁画についての相談、ホール緞帳を福永幸夫氏に委託されている。また、浜田知明氏作のブロンズ「檻」等は文化協会会員の寄付であることを知った時、町と住民が作り上げてきた歴史を感じた。では、ホワイエでの展示等の利用は何回ほどあっているか。



宮村教育長 20年度は7回御船高校生や文化協会の作品展、平成音楽大学のミニコンサートなどが行われた。

ロビーはいつもガラんとしている。図書館は狭く親子で本を楽しむ場所にはなっていない。カルチャーセンターロビー、図書館など含めてカルチャーセンターの機能はこのままでいいのか。

宮村教育長 何か催し物をするとき、目的が大切だといつも思っている。十分な活用ができるよう今後考えたい。

カルチャーセンター 民間委託は

では、今後の運営方法について。

宮村教育長 カルチャーセンターは文化を発信し、町民の文化向上の役割を担っている。運営は、社会教育課が行っている。だが、「富田至誠と教え子たちのきずな」では、「郷土に学ぶ文化事業」として、町民の方と教育委員会が実行委員会をつくり取り組んだ。大変意義ある取り組みだった。今後も事業によって町民の方々とやつ

ていきたい。町長のマニフェストの中に指定管理者委託とあるが、メリット、デメリットを考え検討中。

博物館が充実した運営を行っているのは、中心となる池上芸芸員のおかげだと思う。カルチャーセンターは、異動のある職員が担っていくので、じっくり腰を据えて取り組むことが難しい。指定管理委託について町長はどう考えているか。

山本町長 住民サービスの視点で考えたときに管理委託がいいのかどうか。今、頑張っている住民の方々がおられる。職員が民間の感覚を持てば、もっと充実するのではないかと思う。建物ではなく中味ということとを恐竜博物館で実感している。御船町は人材が豊富教育委員会と連携して考えていく。

今回の取り組みを参考にされて、住民が満足する文化の発信について、町民・行政・議会が一緒に考えていければと思う。次に、文化活動による子ども達の育成について。

子どもと文化活動

宮村教育長 文化は子ども達の豊かな心を育むために

大変大切なものと思っている。学校では、地域との触れあいの中で、地域を誇りに思う取り組みが行われている。生き生き芸術体験教室、学園都市構想の中で豊かな想像力や本物を観て感動する心を育てていきたい。

子ども達全員がホールでの観劇や音楽鑑賞の機会はあるか。

宮村教育長 ない。

皆で同じものを観て、「おもしろかったね」と話し合えることが大切。ホールに来て、壁画「飛翔」や緞帳を見て、その謂われを知ること町に対する愛着や誇りを感じるだろう。その財源として、文化振興会の立ち上げは考えないか。

宮村教育長 子ども達がカルチャーセンターに足を運ぶことは大切だと思う。一部ではあるが取り組んでいる。今後考えていきたい。

単発ではなく継続的な文化活動が行われることを望む。商工会の方々が御船川左岸のあり方について住民と話し合うと言われていた。たくさんものを無くしたが、まだまだ、価値ある建築物が残っている。皆で知恵を出し合い、発信できるものになればと思う。

中山間地域活性化に どう取り組む



田端 幸治議員

中山間地域活性化を 町長の主要課題に

御船町の人口は過去30年間約1万8千人とほぼ横ばいの状況にあるが地域別人口の推移を見ると、特に中山間地の人口減少は著しく4割近い減少率と共に高齢化が進んでいるが、この現状に対する具体的施策はあるか。

山本町長 中山間地の活性化については、これまで農政関連として中山間地域総合整備事業で圃場整備、用排水路整備、農道整備、集落道整備、営農飲雑用水整備事業を実施し生産基盤の整備や農村の生活環境整備を行い活性化を図ってきた。

御船町における事業については本年度で目途がついたのでこれからも地域の要望を聞き継続して、その地域の営農計画に応じた農業農村整備事業に取り組む必要がある。

御船町中心部では、御船町都市計画（マスタープラン）、御船地区整備計画、マニフェストにおける中心部整備計画等具体的実施計

画がなされているが、中山間地では地域別具体的な活性化計画がない、山本町長の政策の主要課題として平成23年に取り組む御船町総合計画に具体的中山間地の活性化計画を示すべきではないか。

山本町長 農村集落では高

齢化が進み農業者だけでは、農地や水など地域の資源を守る力が弱くなっている。今後は農地、水、環境保全対策事業に取り組み、農村集落を地域住民と協力しながら一体となつて守っていく必要がある。また総合計画については提言のように中山間地の活性化に向けた具体的取り組みを盛り込んで行きたい。

行財政改革の進ちょくと評価は



嘱託区の再編の説明会の様子（高木校区）

御船町では、平成17年から21年までの行財政改革プログラムを発表し取り組んできたが、現在外部評価や嘱託区の再編、またマニフェストに掲げている指定管理者制度の導入についてはどのように取り組むか。

山本町長 嘱託区の再編については、現在嘱託員会理事会において検討を重ねている。町としては平成22年度に平坦部と山間部にそれぞれ一嘱託区、モデル地区を設けたい。

指定管理者制度導入については、スポーツセンター、老人ホーム等について検討をしている状況にある。

総務課長 外部評価委員会については平成22年度に再度立ち上げて行財政改革に取り組んでいく。



指定管理委託が予定されているスポーツセンター



岩田 重成議員

有害鳥獣対策について

山間地の農業で今日最も大きな話題となるのは猪の被害である。猪の被害はここ4、5年で大きくなり農村では深刻な問題となっている。推測ではあるが、猪の絶対数そのものが増大していると考えられる。このままでは、高齢化している中山間地の農業は壊滅的な状況に追い込まれるのは時間の問題である。地域によつては猪だけではなく鹿、猿の被害も新たに加わっている。早急に被害実態調査をやっていたら、抜本的な対策が必要と思われる。被害は考えられるだけで、米、栗、竹の子、野菜などがあげられる。これらの被害額と被害を回避するための資材、労力を金額で表すと相当大きな金額になってくると推察される。そこで農家ができる事は電気柵が「はこワナ」(上部が開いているもの)しか防止策はありません。

その「はこワナ」の免除と禁猟期間の開放など町独自で条例化して架設はできないか。

山本町長 囲いワナ、はこワナはそれぞれワナ猟の免



イノシシ(捕獲)用の「はこワナ」

許が必要であり、狩猟期間内については囲いワナは免許が要らないので自分の農地等は設置ができる。囲いワナについて町独自で条例要綱等制定する考えは現在のところない。

山本町長 平成21年度において町では平成21年度より23年度(3カ年)の鳥獣被害

中山間地域等直接支払制度対象区域内に補助金はできないか。

平成21年度において町では平成21年度より23年度(3カ年)の鳥獣被害

住宅火災による死者の数は全国でこのところ5年連続千名を超える高い水準で推移しております。このうち65歳以上の高齢者が約6割、また「逃げ遅れ」が原因で亡くなった人が6割以上なので、もっと早く火災の発生を知っていれば助かったケースもあるのではないか。

平成16年の消防法改正で住宅用火災警報器の設置が義務付けられたが、最近の推計普及率はまだ35%にとどまっている。町においても町営住宅には設置されています。平成23年6月までに全家庭に設置しなければならぬ。そこで火災警報器を町が一括共同で購入する考えはないか、また高齢者世帯等に助成はできないか。一括購入することで様々なメリットがある。①悪質な訪問販売防止策になる。②どこでどれを買ったかというといった悩みがなくなります。③地域全体で購入すると、地域全体の防火対策になる。④大量に購入することで、個人で購入するより予算を抑えることができる。⑤自分で取り付けられないときにも、地域で手伝ってもらえる。⑥住宅用火災警報器の交換時期や維持管理もしやすくなる。

山本町長 町の予算で一括購入し配布するのは、財政的事実を考慮すると非常に難しいと考える。高齢者世帯の捉え方や、財政的な問題を考慮したうえで、今後検討したいと考えます。細かな問題もあるので、今後どのような手法にするか検討する。平成23年6月が期限でもう少し時間があるので、その方向で検討する。

住宅用火災報知器の設置について

御船高校生——議会を傍聴 厳粛な場、真剣さ伝わる

特集

答えを すぐ言える

312 29号

西岡沙津紀

私が初めて議会を傍聴して感じたことは、議員さんと町長さんとの議論で質問したことに対しての答えを率直に返すことができることがすごいとまず感じました。意見を言う時には必ず議長の指名を受け発表しなければいけないと知りまし

た。議員の方たち一人一人に役割があり御船町民のためにとっても真剣な話をしてもらったので私たちもそれに応えられるようになりました。御船町を良くしていくために色々な提案などをして住みやすい町づくりに力を入れている気持ちが強くなってきました。たいへんな事がたくさんだろうと思いますがこれから御船町のために町長さんに頑張ってもらいたいです。

納得するまで 討論

312 32号

橋本 一葉

御船町議会を傍聴して、とてもすごいと思いました。正直、議会がどのようなものか全く知りませんでした。今日、議会の様子を見て、町長や教育長、上下水道課長など、さまざまな人たちが参加しているんだとはじめて分かりました。

質問する人に対して、答える人がいて、しっかりと納得するまで討論が行われているんだなと思いました。

また、周りで聞いている人たちも、メモをとったり話を聞いてうなずいたりしていてさすがだと思い、私も人の話は忘れないようメモをとったり、集中して聞くなどきちんと心がけていきたいと思いました。

今日、議会を傍聴して良かったと思います。とても貴重な経験ができました。今後機会があればまた見たいなと思っています。傍聴させていただきありがとうございました。

歴史的な町

312 16号

吉田 賢吾

私は御船町議会を傍聴して、内容的に難しかったです。でも、栗原秀子議員の文化の息づく町づくりについての討論はとても分かりやすく面白かったです。浜田知明氏を初め、国内外で高い評価を得ている芸術家

の美術館を建設する考えに対し、教育長の町全体を美術館にする考えには驚きました。その返答はともない考えたと思います。文化への財源が少ない分、美術館を建てるのは難しい。でも、御船町は歴史的な町だと思うので、町全体を美術館にする考えはいいと思います。また、カルチャーセンターの図書館についてで

議会ならではの

312 27号

田上 元美

初めて議会を傍聴し、話し手の工夫や、討論のやり取り方など普段あまり分からないことを学ぶことができ、とてもいい経験になりました。

また、議会ならではの雰囲気も味わうことができ、議長さんをすべて通して行う議会がどのようなものか感じる事ができました。

御船町のことについて、議員さんたちが真剣に話をしている、こうやって町が成り立っているんだなあと思いました。

自分たちも、少しでもいいので住んでる町のことを知らなければならぬと感じました。



40人の御船高校生が交替で傍聴席に。

傍聴者もメモ

312 34号

松永 希美

初めて議会を傍聴してみ、内容は良く分からないことが多かったけれど、議会がどのように行われているのか初めて知りました。町長さんをはじめ議員の方たちが御船のことをよく考え、よくしていこうという姿勢を感じることが出来ました。議員の方たちの、意見の多さと、それに対しての答えがとてもしっかりし

ていたものだったのでびっくりしました。建物の中は、厳肅な感じがして自分とは遠いものだなという感じがしました。傍聴者の方の真剣さとメモの量にもとても驚きました。

僕はいま
すごい所にいる

312 10号

林田 純明

僕は今まで町議会を聞いたことがありませんでした。今回が初めてだったので、



真剣に傍聴している高校生

まるで小論文を

312 22号

尾方 麻美

私は今日初めて議会を傍聴しました。周りが静かで、質問する人も答弁する人も真剣に話を進めていました。文化活動で子供たちを育成するなどの話がありました。私の近くにいた傍聴者の方はノートに注目したことや重要な部分を書き留めていました。ちなみに眠くなることはないかと思いましたが、議員や町長などの人たちもノートに書き留めたり、ノートを見たりしていて、

活性化に一丸と

312 17号

荒木ともみ

質問の内容やどんな答えを出そうか考えているのがよく分かりました。まるで小論文を読んでいるかのように自分の意見をはっきり述べていたので、私も小論文では自分の意見などを積極的に述べていきたいです。

御船町議会を傍聴し、場の雰囲気が張りつめていたことにビックリしました。町長さんを初めとし、一人一人の議員さんたちが自分の意見をはきはきと言っておられて、皆が御船町について真剣に考えていらつしやるなど感じました。また、発表に対し質問などを何回もされているのを見て、熱心だなと思いました。私達の話し合いとは全然違って、たんとんと流れていって、さすがだなと思い、私達との差を見せつけられました。討論の内容などは、分かりませんでした。御船の活性化のために皆さんが一丸となっているのは分かりました。議場は、東京で見た国会議事堂と似ており、おどろきました。

人事案件

平成21年第3回御船町議会定例会最終日の9月16日1件の人事案件が全会一致で、承認されました。

◎御船町人権擁護委員



宮本 英二氏 (64歳)

御船町大字高木
1098番地(再任)
井口 誠一氏 (68歳)御船町大字豊秋
2567番地1

◎町道編入(水越地区)

平成21年第3回御船町議会定例会に付託された。最終日の9月16日、継続審議とする。

「理由」 地権者からの寄附採納で問題があり、道路にかかる分の分筆を行うなど要件を満たす手続きが必要であるため継続審議とした。

議会の動き見えない

町民の声に奮起

議員研修



熊取町議会で説明を受けているところ

7月6日から7月8日にかけて21年度全議員研修を行った。全員協議会で各常任委員会が視察研修したい事項を提案し予定地を決定した。研修内容を報告する。

大阪・熊取町議会を視察

議会の動き見えない

議会報告会開く

総務常任委員会

委員長 池田 浩二

大阪府熊取町議会を訪問し、議会基本条例制定のいきさつや議会報告会の概要

について、大村議会運営委員長から説明を受けた。

大村委員長談：基本条例制定のきっかけは「議会がどんな仕事をしているのか見えない」との住民からの指摘を受け、北海道栗山町議会を視察研修し、「議会活性化を図るには、議会運

営の根幹をなす議会基本条例を制定しなければならなと思った。

特に住民から信頼される

議会にするため、①議会の機能強化。②分かりやすい議会。③ガラス張りの議会。

④住民に身近な議会。⑤活力ある議会。などをめざす。

また、「行政のチェック機能としての議会活性化を図り、議会報告会を年4回の定例議会終了後、9地区で開いている。

議会報告会が、住民福祉に繋がることや議会モニター制度を導入しているなどの話もあった。

徳島県上勝町を視察

自ら考え

自ら行動

建設産業常任委員会

委員長 塚本 勝紀

徳島県上勝町は、「葉っぱ」を活かした彩（いろいろ）事業と1Q（いっきゅう）運動会や「ごみゼロウェイスト」について午前、午後に分けて研修した。

「葉っぱ」事業が成功した理由や1Q運動会、ごみゼロ宣言などの展開について笠松町長や担当者から説

明を受けた。笠松町長が言われた「地域活性化は行政の押し付けでなく、地域自ら考え、地域自ら行動するというのが基本だ、また「情報発信、受信しなければ忘れられる。地方が忘れられないようにするには情報化が最優先であり、これからの地方自治体の一番の戦略である」という発言が特に印象的であった。

上勝町には5つの第三セ

徳島県上勝町を視察

ごみゼロ宣言の町

民生文教常任委員会

委員長 清水 聖

高齢化率49%。過疎と高齢化が同時進行している四国で一番小さな町、上勝町。未来の子ども達にきれいな空気とおいしい水、豊かな台地を残すため、2020年までに町のごみをゼロにすることを決意した。

町で発生するごみを月一回の回収に抑制、分別、回収を指導。分別は34種類。ごみ収集車はない。住民がごみステーションに持参する。遠隔地や車がない家庭

クターがあり、雇用者数は120人となり、I・Uターン者を受け入れ、地域活性化に大きな役割を担っている。

笠松町長が「日本国または町村を他国、他地域から見ればよく分かる」碁や将棋と同じで、第三者から見ると石や駒の動きが良く分かることであり、多方面から物事を捉えることの重要性を再認識した。

にはボランティアグループが土・日や出勤の際に代行する。無料では頼みにくいと言う所にはシルバー人材センターが有償で請け負うこともはじめた。

「上勝町には困難は支えあつて乗り越えよう」と言う昔ながらの作風がある。頭脳と体力による町づくり運動を展開している。

どこの自治体もごみ問題には頭を痛めている。ごみの処理方法によって私達は多くのお金と限りある資源を無駄にしている。小さな町、上勝町の取り組みが全国の自治体を動かし、国、企業にも取り組みを求めている。



地元の問題や課題多いこと知る ●●●●●●

「本校生徒、議会を傍聴する」

公民科の授業で「国会」を学習していたおり、ありがたいうちに本校御出身の町議さんから御勧誘いただき、3年生のークラスを引率し、9月議会を傍聴させていただくことになった。

当日は議会の議事進行が遅れて、午後からの一般質問となったので、幸い生徒達は行政対議員の活発な討論を傍聴することができた。今回参加した生徒の大半が議会傍聴は初体験であった。緊張した雰囲気の中で、議会が厳粛なルールに基づいて行われている様子や堂々とした質疑応答が行われる様子を見て、生徒は感銘を受けると同時に、民主的な議会運営の在り方を学ぶことができた。

議論の内容は高度なものであった。しかし「カルチャーセンターの運営について」な



熊本県立御船高等学校教諭
今村 武人さん

ど生徒に関心のある議論になると、生徒の中には「確かにカルチャーセンターにもっと親子や学生が立ち寄れる工夫ができないだろうか」「美術館を建設すべきでは」という意見に対し、教育長が町全体を美術館にすべきだという答弁には驚いた(すばらしい)など積極的に自分の意見を述べる者もいた。

当日はこの他にも様々な議論が行われ、生徒は地元には解決すべき多くの問題や課題があることを知ることができた。身近な話題に関心を持たせることは、生徒の考える力を育てるうえで極めて大事なことでと思う。私は授業等で身近な地元の話題を取り上げ、生徒達にお互いに意見交換させる機会をつくる必要を感じた次第である。

議会基本条例制定 特別委員会報告

平成21年3月定例会において設置した本特別委員会は9月末日現在まで8回の委員会を開催している。

4月28日宮崎県高千穂町議会にて議会基本条例制定までの経緯等について研修をうけ、8月21日・22日岡本光雄全国町村議会議長会議事調査部長より議会基本条例について講義を受けた。

委員会開催後は議員全員で課題について協議を進めている。

9月にはアンケート調査を実施。町民を交えた議会基本条例づくりに取組みたい。

11月29日(日)には橋場利勝北海道栗山町議会議長、岡本光雄全国町村議会議長会議事調査部長をお招きし、議会基本条例シンポジウムを開催する予定。



県内の議会関係者はもちろん、県外の方からも注目を集めている。ぜひ、この機会に御船町議会の取り組みを知っていただき、御船町の未来を町民の皆さまと一緒につくりあげて行きたい。お誘い併せのうえ参加をお願いします。

(特別委員長
藤村 久)

編集後記

■九月議会は20年度決算を承認。季節は秋本番、新型インフルエンザ対策は出来ているのかワクチンは足りるのか心配である。

■去る8月25日・26日広報研修で東京に出張浜松駅から永田町までタクシーを利用(私費)国会周辺はひっそりしていたが、米国大使館だけは警備が物々しかった。

■哲学者ニーチェの言葉に脱皮しないヘビは死ぬとある。

22年度予算編成に当たっては町民のニーズに合った日々の暮らしの安心安全の予算配分が望まれる。

畑田 良一



～みんなで語ろう みんなの議会～

御船町議会基本条例 シンポジウム

11/29(日)
開催決定!!

議会基本条例とは?
町民も参加できる開かれた議会を
つくるための町民との約束です。



基調講演&パネリスト

御船町の
水前寺菜入り
玉子焼きを
食べました。
おいしかった～!



全国議会のスペシャリスト



議会改革のバイオニア

全国町村議会議長会
岡本光雄氏

北海道栗山町議会議長
橋場利勝氏

シンポジウム内容
①基調講演
②委員会報告
③パネルディスカッション

参加自由!

どなたでも参加できます。
お待ちしております!

日時：平成21年11月29日(日)
午後1時30分
～4時30分

会場：御船町
カルチャーセンターホール



問合せ先：御船町役場 議会事務局

TEL 096-282-1111 (内線311・312)